



# 栃木 会議所ニュース

ホームページ <https://www.tochigi-cci.or.jp/> Eメール [tcci@tochigi-cci.or.jp](mailto:tcci@tochigi-cci.or.jp)

No.679

毎月1回10日発行  
発行所  
栃木市片柳町2-1-46  
栃木商工会議所  
TEL (23) 3 1 3 1 (代)  
FAX (22) 7 5 5 0  
印刷所 両毛印刷(株)  
定価 1部100円

会員の購読料は、会費に含まれています。



2024年 新年のごあいさつ



栃木商工会議所

会 頭 荒金 憲一

新年明けましておめでとうございます。

会員事業所の皆様には、令和6年辰年の新年を健やかに迎えられましたこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行して以降、通常生活に向けた動きが加速する中で、地域でのイベントの復活や観光需要の回復など、人流が活発化し、コロナ前の状況を取り戻しつつあるものと思われれます。

当所でも、8月の「精霊鎮魂線香花火・灯ろう流し」や「蔵の街サマーフェスタ」、さらに11月の「蔵の街ふるさとまつり」や「栃木市の産業と物産展」など、市民の皆様とともに盛大に開催できましたことに厚く御礼申し上げます。

一方、中小・小規模事業者は、恒常的な人手不足や複合的要因による物

価高騰の影響などから依然として厳しい状況が続いており、加えて中東情勢の緊迫化が新たな社会的、経済的な不安材料となり、極めて予想困難な経営環境下に置かれております。

このような中、当所では会員事業者支援のため年間3千件に上る経営相談に取り組みとともに、関係機関への要望活動の実施により、物価対策をはじめ地域振興策など幅広い制度・施策の実現に繋げてまいりました。

私たちが企業経営者は、日まぐるしく変わる社会情勢の中で、経済の変化を見据え、柔軟な経営方針のもと、その状況に対応できる変革力を持たなければ、この厳しい社会環境を生き抜くことができないものと考えます。

また、活力ある地域経済の持続的な発展のためには、私たち中小・小規

模事業者が地域貢献、社会貢献の要であることから、当所としても、企業のイノベーション創出や事業再構築、取引適正化など付加価値の向上を通じた成長を支援する必要があります。

政府が掲げる「新しい資本主義」の推進に向けては、「急激な物価高の対策」「中小・小規模事業者の持続的な賃上げの実現」「国内投資の促進」「人口減少を乗り越え、社会変革の推進」「国土強靱化など国民の安全・安心の確保」などへの取り組みが今後重点的に進められることとなります。

特に賃上げについては、実現するための事業環境を構築できるかが重要であることから、日本商工会議所をはじめ経済三団体が強く推進する「パートナーシップ構築宣言」について、官民一体とな

り実効性をより高めるなど、引き続き中小企業の付加価値向上への取り組みが必要であると考えます。

当所としては、歴史と伝統の中で、地域に根ざり添える地域総合経済団体として、地域の多様な主体との連携を深め、魅力と活力を創出することが求められております。

ついでには、この厳しい地域経済の中で引き続き当所の役割を十分に発揮できるように、自らも変化に対応できる強い足腰を鍛え、積極的に活動してまいりますので、会員事業所の皆様には、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご繁栄とご多幸をご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

## 今月のトピックス

- 8P 決算書・確定申告書作成相談会のご案内
- 9P 栃木市企業ガイドブック(デジタル版)掲載企業の募集
- 第17回あそ雛まつりのご案内
- 10P 電子帳簿保存法「電子取引」のご案内
- 11P 栃木税務署確定申告のお知らせ

# 謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願いいたします  
(敬称略)

## 会頭



荒金 憲一  
ケープルテレビ(株) 取締役会長

## 副会頭



若菜 秀夫  
(株)アスワン 代表取締役会長



小野口 美治  
小野口商事(株) 代表取締役社長



膝附 武男  
ひびつぎ製菓(株) 代表取締役



佐山 謙三  
(株)佐山 代表取締役社長



國保 能克  
栃木商工会議所

## 常議員



津布久 茂  
(株)ニッコクリエート 代表取締役会長



小又 正和  
小又工業(株) 代表取締役



松本 稔  
松金化学工業(株) 代表取締役



小池 雅弘  
(株)スクラムフーズ 代表取締役



茂木 広至  
茂木機工(株) 代表取締役



渡邊 嘉一  
ワタレイ(株) 代表取締役社長



長澤 厚史  
(有)ナガサワ 代表取締役



小藤 有彦  
(株)小藤製作所 代表取締役



田島 大  
栃木市商店会連合会 会長



柳川 延夫  
栃木ガス(株) 取締役社長



山口 輝  
滝沢ハム(株) 常務取締役管理本部長



片柳 均  
(株)セレモール 取締役会長



伏木 昌人  
栃木信用金庫 理事長



福田 昌弘  
日ノ出印刷(株) 代表取締役



平野 和正  
(株)正和 代表取締役社長



横地 克孝  
(株)栃木こすもす 代表取締役



松倉 敬士  
栃木乳業(株) 代表取締役



青木 紀郎  
栃木アンカー工業(株) 取締役副社長



五味 栄一  
(株)みずほ銀行栃木支店 支店長



横山 順一  
(株)足利銀行栃木支店 理事支店長

## 議員



塚田 和克  
(株)ソッカダ 代表取締役



大阿久 岩人  
(株)柏倉温泉太子館 会長



若林 芳明  
栃木グランドホテル(株) 取締役会長



大澤 光司  
(株)メデイカルグリーン 代表取締役



柏崎 和己  
(有)栃木地区浄化槽公社 代表取締役



猿山 貴  
岡田石灰工業(株) 常務取締役



岩下 和了  
岩下食品(株) 代表取締役社長



森戸 忠広  
森戸運送(有) 代表取締役



寺内 治雄  
(株)共同アロ保険事務所 代表取締役会長



森川 武  
(有)森川自動車 会長



福富 正浩  
福富税務会計事務所 所長税理士



田邊 勇輝  
タナベ 労働管理事務所 代表



嶋田 完治  
シマダ 代表取締役



藤沼 康雄  
関東信越税理士会栃木支部 相談役

監事



小田垣 俊郎  
元副会頭



大木 和  
元副会頭



笠原 孝之  
元副会頭



田村 佐重  
元副会頭

相談役



大川 秀子  
栃木市長

顧問



大川 吉弘  
元会頭

特別顧問



大木 敬  
大木組 代表取締役社長



八木原 清二  
アサヒドール 専務取締役



小島 峰夫  
栃木陶器瓦 代表取締役



佐々木 浩  
栃木冷暖工業 代表取締役



小林 雄一  
小林縫製工業 代表取締役社長



関口 佳市  
関口商事 代表取締役兼CEO



田名網 文男  
明治フード 代表取締役



荒川 光男  
荒川建設 代表取締役



古谷 清岳  
館野建設 代表取締役会長



癸生川 照男  
栃木県南自動車学校 代表取締役社長



伊藤 和博  
伊藤電機 代表取締役社長

議員



市本 和久  
関東エコーサイクル 代表取締役社長



遅澤 敦史  
木レザー 代表取締役



川嶋 幸雄  
タスク 名誉会長



西畑 圭樹  
西畑建材店 代表取締役



松本 篤哉  
両毛印刷 代表取締役



田村 義弘  
田村自動車整備工場 代表取締役



谷中 俊太郎  
大正紙器 代表取締役



須田 尚男  
須田商事 代表取締役



斎藤 卓司  
ジャパンソフト 常務取締役



毛塚 敏郎  
毛塚紙店 代表取締役



落合 希好  
落合産業 代表取締役



原 裕一  
サントリ 株林の森工場 工場長



丸城 裕和  
日立グローバルライフソリューションズ プロダクト人事部長



渡辺 紀彦  
群馬銀行栃木支店 支店長



宇野 匡克  
栃木銀行栃木支店 支店長



茂呂 彰裕  
金朝商事 代表取締役



山口 真右  
栃木木材 代表理事



岡部 一法  
上原園 代表取締役社長



板倉 政幸  
板倉製作所 代表取締役



別井 秀一  
別井商店 代表取締役



中島 喜代典  
丸三産業 代表取締役社長



坂本 和則  
坂本産業 代表取締役

## 2024年 年頭所感



日本商工会議所

会頭 小林 健

明けましておめでと  
うございます。

2024年の新春を迎  
え、謹んでお慶び申し上  
げます。

時代の転換を図るチャン  
スの年に

さて、昨年の経済社会  
情勢は、内外ともに不透  
明さと緊迫の度が増した  
1年でありました。世界  
ではロシアによるウクラ  
イナ侵攻の長期化に加え、  
中台間の緊張、イスラエ  
ルとパレスチナ武装勢力  
間の衝突も深刻化するな  
ど地政学リスクが増大す  
る1年となり、国内では  
アフターコロナで緩やか  
に景気が回復するものの、  
1ドル＝150円前後の歴  
史的水準に達した円安や

41年ぶりの上昇率を記録  
した消費者物価・エネル

ギー価格の高騰の影響、  
深刻さを増す人手不足な  
ど、依然として厳しい状  
況にあります。本年も、

先行き不透明な状況が続  
くことは一定程度覚悟し  
なければなりません。

一方、コロナ禍を乗り  
越え、社会経済活動の正  
常化が加速したことで、

設備投資意欲が顕在化し、  
約30年ぶりの高い賃上げ  
が実現されるなど、時代  
の転換が萌芽しています。

今こそ、デフレ経済から  
の完全脱却、成長と分配  
による経済好循環を実現

していく絶好のチャンス  
にしなければなりません。

政府におかれては、岸

田内閣が掲げる「新しい  
資本主義」の成長戦略を  
確実かつ速やかに実行に  
移すことで、生産性向上

に裏付けされたモデル  
トな物価上昇、構造的な  
賃金上昇を実現し、持続

的な成長型経済への転換  
を果たしていくべきであ  
ります。短期的利益に拘

泥することなく、中長期  
の安定的経済発展のため  
の「攻めの経済」、すな

わち成長基盤の強化に寄  
与する政策に国家資源を  
集中し、官民一体となっ

て、グローバル競争を勝  
ち抜く足腰の強化を図る  
ことが重要だと考えます。

昨年の総合経済対策では、  
中小企業のチャレンジを  
支援する方針が明確に示

され、エネルギー高騰や  
物価高対策に加えて、潜  
在成長率の底上げに資す

る対策も多く打ち出され  
ました。あとは実行ある  
のみです。

「停滞」から「成長」へ

当然のことながら、わ

れわれ民間も政府に環境  
整備を求めるだけでなく、  
「停滞」から「成長」へ

とマインドを切り替える  
とともに、時代の大きな  
変化を的確に捉え、自己

変革に挑戦していかなけ  
ればなりません。創意工  
夫に知恵を絞り、絶えざ

るイノベーションや事業  
の再生、再構築にまい進  
し、人や設備への投資を

活性化させることが、経  
済全体としての新たな雇  
用の拡大、賃金増、さら

なる需要増といった好循  
環を産み出すことにもつ  
ながります。また、原材

料や光熱費、労務費など  
の原価を吸収し、適正な  
利益を確保するためには、

「取引価格の適正化」が  
不可欠であります。引き  
続き、「パートナーシッ

プ構築宣言」の実効性向  
上に向け、価格協議・価  
格転嫁が商習慣として定

着するよう、われわれと

しても粘り強く取り組ん  
でまいります。

125万会員のネットワー  
クを生かす

日商会頭に就任し、1  
年と2カ月が経過しまし  
た。この間、副会頭11商

工会議所を訪問するとと  
もに、各ブロックの総会  
や青年部、女性会の全国

大会にも参加し、地域の  
第一線で活動されている  
会員事業者の皆さまと意

見交換する機会に恵まれ、  
多くの示唆を頂きました。  
この場をお借りして、心

から感謝申し上げます。  
また、昨年6月に日韓商  
工会議所首脳会議を開催

し、10月には、4年ぶり  
となる経済ミッシェン  
率いてフィリピン・マ

レーシア・シンガポール  
を訪問し、民間経済外交  
を本格的に再開していま

す。「原点は対話である」  
が私の信条であり、本年  
も可能な限り各地を訪問

し、国内外の皆さまとの  
対話を重ねるとともに、  
経営指導員など現場によ

り近い方々の声も踏まえ、

活動の軸である「現場主  
義」「双方向主義」を実  
践してまいる所存です。

われわれ商工会議所の  
最大の強みは、全国515商  
工会議所125万会員のネッ

トワークであり、中小企  
業が直面する課題が複雑  
化する中、このネット

ワーク力を最大限に生か  
した行動が必要です。2  
025年には大阪・関西

万博が控えており、地域  
の多様な主体の連携拠点  
として、全国的な機運の

醸成を図るとともに、  
ビッグイベントを新たな  
成長につなげていく動き

を強力に後押ししていま  
ります。本年も「地域と  
ともに、未来を創る」理

念のもと、地域経済が再  
び成長と分配の好循環や  
豊かさを実感できるよう、

515商工会議所の総力を結  
集してまいりたいと存じ  
ます。

皆さまの一層のご支援

とご協力を心からお願い  
申し上げます。

# 令和6(2024)年 新年知事あいさつ



栃木県知事

福田 富一

商工会議所会員の皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。

本年は、知事5期目の任期の仕上げの年となります。私は、これまで、自然、歴史、文化など、栃木県が有する多彩な「本物」を磨き上げて参りました。今後とも、県民の皆様と力を合わせ、国内外から「選ばれとちぎ」の実現に努めて参ります。

さて、昨年は、栃木県誕生150年の節目であり、また、我が国で初めてとなるG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が本県で開催され、記念すべき1年となりました。各国代表団の皆様には、本県の誇る「本物」と、

地元の皆様の温かいおもてなしに対し、高い評価をいただきました。今後は、大臣会合の開催を契

機とした男女共同参画に対する関心の高まりを生かしながら、社会全体の機運醸成を図るとともに、女性の経済的自立などの課題解決に向けた施策を展開し、女性活躍を一層推進して参る考えであります。

また、計画期間の4年目となる栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」に掲げた本県の将来像「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気なとちぎ」の実現に向けまして、人口減少問題の克服と地域の活力維持を目指す「とちぎ創生15戦略(第2期)」と相互に連携を図りながら、プランに掲げた各プロジェクトを着実に展開して参ります。

特に、喫緊かつ重要な課題となつてい

る出生数の減少や合計特殊出生率の低迷など、深刻さを増す少子化への対応につき

ましては、昨年8月に、本県として取り組むべき施策として「とちぎ少子化対策緊急プロジェクト」をとりまとめたところであり、引き続き、国の施策にも呼応しながら、結婚、妊娠・出産、子育ての各ライフステージに応じた切れ目ない支援に全力を尽くして参ります。

さらに、長期にわたるコロナ禍の影響を受けた県内経済の回復を確かなものとし、持続的発展につなげていくため、積極的なグローバル展開を図るほか、全ての県民がデジタル技術の活用による恩恵を享受し、便利で快適に暮らし続けることができる社会の形成を目指すとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、脱炭素化の取組をオール栃木体制で進めて参ります。

加えて、県立美術館、図書館及び文書館につきましては、現在、「文化と知」の創造拠点として一体的に整備する構想の策定を進めているところであり、新たな施設が本県の文化振興の中核とし

て、長く県民に愛され、誇りに思えるものとなるよう、引き続き、丁寧な検討して参ります。

時代が大きく変化する今、その潮流をしっかりと捉え、多様なニーズに対応しながら、未来志向で「新しいとちぎ」づくりに取り組んで参りますので、県民の皆様の一層の御理解と御支援をお願いいたします。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

と、5月に新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い、日常生活やビジネス活動の正常化が進み、企業の売上はコロナ禍前の水準まで回復しつつあります。しかし、原材料やエネルギー価格の高騰等によるコスト増は今なお続いており、加えて、未曾有の人手不足の中で、多くの中小企業は人材確保・定着に向けて、収益が伴わない中でも防衛的な賃上げに取り組む等、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。



# 令和6年新年のごあいさつ



(一社)栃木県商工会議所連合会

会長 藤井 昌一

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い、日常生活やビジネス活動の正常化が進み、企業の売上はコロナ禍前の水準まで回復しつつあります。しかし、原材料やエネルギー価格の高騰等によるコスト増は今なお続いており、加えて、未曾有の人手不足の中で、多くの中小企業は人材確保・定着に向けて、収益が伴わない中でも防衛的な賃上げに取り組む等、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

こうした状況の中、昨年9月には適正な価格転嫁などを推進し、賃上げの社会的な要請に応えるため「パートナーシップ

構築宣言の推進と適正な価格転嫁の実現に向けたとちぎ共同宣言」を行ったところであり、パートナーシップ構築宣言の登録企業を増やし、経済の成長と分配の好循環に向け、サプライチェーン全体で成長していきけるよう、栃木県、県内経済団体、労働団体等が一体となって取り組んでいるところでもあります。

かつて、日本商工会議所第13代会頭の永野重雄(ながのしげお)氏は、小さい石、大きい石、様々な石が巧みに絡み合っている隙間を埋め、強固な礎を築いている「石垣」を中小企業と大企業がそれぞれの強みを生かしながら共存共栄していく姿に例えた日本経済石垣論を唱えました。正に経済停滞から成長への転換期を迎えた今こそ、地域企業は自ら変革に挑み、新たな成長に向かって地域の活

力の維持強化に努めていくことが重要であります。また、本年7月には商工会議所の創設者（東京商工会議所初代会頭）であります洪沢栄一翁が、新1万円札の肖像画となります。

商工会議所といたしましても、洪沢翁の「逆境の時こそ、力を尽くす」という信念に学び、地域企業の皆様に寄り添った経営支援を強化していくことはもとより、変化の激しい社会情勢を見極め

ながら、各地から寄せられる経営者の生の声をよりスピード感をもって、国や県、関係機関等に届けて参りたいと考えておりますので、皆様の御支援御協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と企業の御発展、そして令和6年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

### 令和6年新年のごあいさつ



栃木市長

大川 秀子

新年あけましておめでとうございます。

栃木商工会議所会員の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月には新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類へ引き下げられ、景気浮揚への期待

感が高まりましたが、ロシアのウクライナ侵攻等を背景とした原油価格や物価の高騰が消費拡大に水を差す形となった1年でありました。本市におきましては、明治6年に栃木県が誕生してから150年を迎える節目の年でもありました。本市は最初の県庁が置かれた、栃木県誕生の地

でありまして、県庁堀を始めとする数多くの史跡が現存しており、その発祥地として相応しい様々な記念イベントを開催し、市外からも多くのお客様をお迎えしたところです。

また、4月には第2次栃木市総合計画がスタートし、「豊かな自然と共に生し優しさと強さが調和した活力ある栃木市」を将来都市像に掲げ、総合的かつ体系的に定めた分野別目標の実現に向けて努めてまいります。

さらに、9月には「都賀西方スマートインターチェンジ」の開通や水害被害の軽減を図る「巴波川地下捷水路本体工事」の着工、「消防本部新庁舎」の部分供用開始に加え、10月には新斎場、あじさいの杜、も供用を開始し、これまでの着実な歩みが成果となつて表れた1年であったと実感しています。

今年も、会員企業の皆様にとりまして、活力に満ちた豊かな1年となりますことを期待しております。そのためには、地域内経済循環の促進が重要でありますので、本市

におきましても物価高騰対策を始め、国・県・栃木商工会議所様との連携を密に図りながら、事業者・消費者の双方に寄り添った施策を講じてまいります。また、巴波川及び永野川流域の調節池や田んぼダムの着実な整備を通じて、災害に強いまちづくりを進めるとともに、4月には妊産婦・子ども・子育て世帯への一体的な支援を行う拠点として「こども家庭センター」を開設し、人口減少や少子化対策への取組みも一層進めてまいります。

最後に、本年11月には、とちぎ秋まつりの開催を予定しております。多くのお客様をお迎えし、活気と賑わいに溢れ、皆様の心に残る素敵な催しとなりますよう、栃木商工会議所の会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

今年も、会員企業の皆様にとりまして、活力に満ちた豊かな1年となりますことを期待しております。そのためには、地域内経済循環の促進が重要でありますので、本市

辰年議員さんより新年のご挨拶

辰年生まれの議員さんに  
新年のご挨拶を寄稿していただきました。



(有)ナガサワ 代表取締役

長 澤 厚 史

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和6年、甲辰（きのえたつ）も幕が開け、私も本年、年男、還暦を迎えることになりました。論語では、40歳を「不惑」、50歳「知命」、60歳で「耳順」と称しています。60歳になると他人の意見に反発せず、素直に耳を傾けられるという意味だそうです。私も、何事にも自己本位にならず、多くの知人、友人の方々の意見に耳を傾けながら、自分でいけるよう、事業にも、人生にも真摯に向き合っていこうと思つていま

す。畢竟、人は人との結び付き、絆が、大切なのだと思います。本年は、会員の諸先輩、友人の方々との結び付きを今更以上で深めていきたいと考えています。

結びに、本年が、会員の皆様にとりまして、更なる輝ける一年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。





株小藤製作所 代表取締役

小藤 有彦

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスが5類に移行され、人々の活動が活発になり明るい兆しをもたらしてくれました。しかし

ながら、長引くウクライナ紛争や新たに勃発したイスラエルの紛争の影響で、私たちが取り巻く環境がこれまでの経験では判断できない大きな時流の変革期に突入したように思えます。

このような時流の中、当商工会議所の基本理念に基づく諸事業とおし

て、活気あふれる事業所づくり、笑顔あふれる街づくり、笑顔あふれる街づくりに微力ながら取り組んで参る所存でございます。よろしくお願い申し上げます。



株セレモール 取締役会長

片柳 均

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年未だに総務組織委員会において創立130周年記念の幾つかの事業を行うことができ、多くの会員の皆様のご協力に深く感謝いたします。ありがとうございます。

おかげさまで私も本年をもちまして6回目の辰年を迎えることができ、長寿になれたことに感謝いたします。自然環境による被害やコロナ禍の影響が続くなか、葬儀の形態も大きく変化致しました。しかし逝く人に対する思いはどちらの御家庭でも同じ事と思われま

す。これまでの家族の歴史に感謝し、これからの自らの歴史を作らなければならぬと思えます。これまでに感謝し、これからも生き続ける事を目指したいと思えます。結びにあたりまして、会員皆様のますますのご多幸と、ご健勝にてのご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。どうぞ本年も宜しくお願い致します。

### 常議員会・臨時議員総会を開催

12月8日、市内において、常議員会・臨時議員総会を開催した。

はじめに、荒金会頭より「地域の中小・小規模事業者は、人手不足や物価高騰の影響により、依然として厳しい状況にあることから、引き続き会員に寄り添い、きめ細やかな支援に取り組んでまいるので協力をお願いします

たい」と挨拶。

その後議事に入り、報告事項では、議員職務執行者の変更、6つの委員会の事業報告、議員幹事団からの活動と事業の報告がされた。

続いて行われた議案審議では、令和5年度新入会員の入会承認、倫理委員会設置規程の一部改正、令和5年度優良従業員表彰者承認の3つの議案が慎重に審議され、原案の通り承認可決した。

総会終了後に開催した議員懇親会では、第137回日本商工会議所通常会員総会において、22年の永きに亘り役員・議員として尽力された嶋田監事が表彰の栄に浴されたことから、その伝達が行われた。さらに、株日本政策金融公庫より、昭和48年のマル経制度の発足当初より、普及と推進に貢献したとして、小規模事業者経営改善資金融資制度創設50周年功労感謝状が荒金会頭に贈呈された。今回の議員懇親会に参加した役員・議員は、互いに1年の労をねぎらい、新年へのさらなる飛躍を誓い、親睦を深める会となっていた。



臨時議員総会開催風景



マル経制度感謝状贈呈

(中央：株日本政策金融公庫佐野支店永沼支店長)

### 議員職務執行者変更のお知らせ

(提出順)



えんじょう ひろかず  
圓城 裕和 氏

三号議員の日立グローバルライフソリューションズ(株)の職務執行者が、山田三紀夫氏から圓城裕和氏に12月12日付で変更となった。



はら ひろかず  
原 裕一 氏

三号議員のサントリー(株)梓の森工場の職務執行者が、高畑健一氏から原裕一氏に1月1日付で変更となった。

## 部会開催報告

○第1回金融・理財部会役員会議

開催日 12月19日 出席者 7名

協議事項

・令和5年度実施事業について(経過報告)

### 決算書・確定申告書作成相談会のご案内

当所では、青色申告の個人事業者で、決算書と確定申告書の作成が困難な会員を対象に、税理士会のご協力を得て低廉な費用で、その作成を代行する相談会を以下の日程で開催します。

ご希望の方は、事前の予約が必要となりますので、お申し込みください。

■日時 2月15日(木) 9時から正午

13時から16時

■場所 当所会議室

【申込み・問い合わせ先】

中小企業相談所

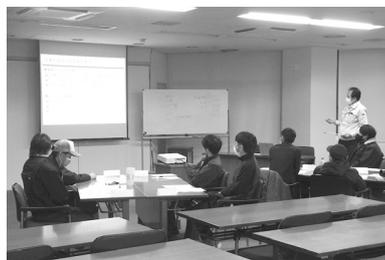
Tel 23-3131

### 「日常業務の管理」 勉強会を開催

12月5日、当所において、「日常業務の管理」勉強会(公財)栃木県南地域地域産業振興センター主催・当所共催)を開催した。本勉強会は、業務の中で発生している身近な問題に注目し、その問題解決の手順を学び、実践的な知識として習得することを目的に開催。

講師には、同センターものづくり企業支援登録指導員である中村昌民氏を迎え開催し、5社7名が参加した。

仕事の進め方の基本要素や管理者に必要な能力の解説に加え、問題事例のディスカッションが行われ、今後の実務に取り入れ活かせる勉強会となった。



### サービズ部会 経済セミナーを開催

12月13日、サービズ部会主催の経済セミナーを開催した。

本セミナーは、23年の日本経済・地域経済を振り返り、24年への展望を図ることで今後の企業経営に役立てることを目的に開催したもの。

講師には、(株)あしぎん総合研究所 地域開発事業部上席研究員の佐藤和寿氏を迎え、30名が参加した。

新型コロナウイルス感染症による経済への影響が落ち着きを見せる一方で、物価高騰による経営への負担増や人材不足等、不確実性が高く先行きが見通せない状況の中で、今後は、業務の効率化や価格転嫁がより必要になると講話された。



### 建設部会 視察研修会開催

12月14日、建設部会視察研修会を開催し、出席者14名のもと、コマツIOTセンター東京(千葉県千葉市美浜区)を視察した。

当部会では、今後必要性が高まる建設現場のICT技術の取組みに焦点をあて活動をしている。今回の研修は、ICT建機の実用性を確かめるために開催したもの。

見学施設では、ICT建機の性能や特徴について説明を受けた後、実際に施工する様子や、試乗体験により、優れた操作性を実体験することができた。今回の視察は、安全面や業務効率化等、建設現場での課題解決に向けた、非常に有意義な研修となった。



### 小平浪平翁記念会 第2回役員会を開催

小平浪平翁記念会(大川吉弘会長)では、12月4日、当所において第2回役員会を開催し、16名が出席された。

会議は、大川会長が議長となり、小平浪平翁生誕記念事業「洪沢栄一記念館等視察研修」開催(案)について協議され、全会一致で承認された。

本年度は、小平翁の顕彰活動を実施するにあたり、先進的な取り組みを実施する洪沢栄一翁の顕彰活動を学び、更なる当会の発展を目的に、関係施設の見学、並びに関係者との意見交換を、令和6年1月15日に実施する。

#### 入会のご案内

■会費(終身会費)

法人・団体 1万円(※)

個人事業主 5千円(※)

個人 2千5百円

※栃木商工会議所会員は50%減免

#### 【入会・問い合わせ先】

小平浪平翁記念会事務局

Tel 23-3131

# 栃木市企業ガイドブック(デジタル版)掲載企業を募集します

このたび、高校生・大学生等の就職希望者に向けた「栃木市企業ガイドブック(デジタル版)」を、制作することになりました。これは、市内全域の企業を一堂に集め、企業の概要や魅力等の情報と職場内の写真や採用状況、採用後の人材育成の内容を掲載いたします。求人票では見えにくい企業イメージを発信し、市内企業への就職を喚起することを目的として制作いたします。

つきましては、ご掲載いただける企業を募集いたしますのでお申し込みください。

ガイドブック	栃木市企業ガイドブック(デジタル版) ※令和6年3月配信予定
掲載対象企業	栃木市商工経済団体連絡協議会 構成団体の会員 ( 栃木商工会議所・大平町商工会・藤岡町 商工会・都賀町商工会・西方商工会・ 岩舟町商工会の会員 )
初回掲載料	16,500円(税込み) ※2年目以降更新掲載料11,000円(税込み)
申込方法	申込フォームURLまたは QRコードよりお申し込み ください 〔申込フォームURL〕 <a href="https://ws.formzu.net/dist/S84588248/">https://ws.formzu.net/dist/S84588248/</a> ※栃木商工会議所ホームページの最新情報 からのアクセスが簡単です
申込期限	令和6年1月25日(木)

## 若手社員×就職希望者による 就活交流会 参加企業募集

高校生・大学生等の就職希望者に、栃木市内企業への就職を喚起することを目的に、就活交流会を開催いたします。

参加企業を募集いたしますので、ぜひご応募ください。

■日 時：令和6年6月29日(土) 13:30～

■会 場：栃木商工会議所大ホール

■参加対象者

企業：栃木市内の会員企業(概ね30歳までの若手社員)

就職希望者：大学生・高校生・第2新卒者等

※詳細は、会議所ニュース2月号にてご案内いたします。

### 【問い合わせ先】

栃木市商工経済団体連絡協議会事務局

(栃木商工会議所内)

Tel. 23-3131・E-mail [tcci@tochigi-cci.or.jp](mailto:tcci@tochigi-cci.or.jp)

### 企業サポート情報

#### 専門家相談会

##### ◆金融相談会

日 時 2月8日(木)

10時～12時

場 所 栃木商工会議所

相 談 員 日本政策金融公庫佐

野支店国民生活事業

##### ◆経営よろず相談会

日 時 2月20日(火)

10時～17時

場 所 栃木商工会議所

相 談 員 栃木県よろず支援拠

点コーディネーター

##### ◆経営指導員相談会

#### ◆オンライン相談

時 間 9時～17時

相 談 員 経営指導員

※予約はQRコードから

お申し込みします。



<http://bit.ly/3gRXpGd>

#### 【各種問い合わせ先】

中小企業相談所

Tel 23-3131

### 来たけく見たけく食ったけく 第17回 あそ雛まつり

2月24日(土)

3月3日(日)

今年で17回目を迎える栃木の雛まつりは、雛人形の展示と併せ、各種体験型イベントが企画されており、遊べる雛まつりとして開催いたします。今回のイベントは、次の通りです

#### 週末の主なイベント情報

2月24日(土)	蔵なび ひなまつりコンサート
2月25日(日)	おひな様アカデミー 蔵の街☆忍者現る
3月2日(土)	十三参り 流し雛
3月3日(日)	あそ雛マルシェ 着物であそ雛まつり

#### 【問い合わせ先】

栃木市商店会連合会事務局

Tel 23-3131

### 令和5年度優秀施工者国土交通大臣顕彰を受賞

11月21日に開催された「令和5年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰式典」において、当所会員の2事業所2名が優秀な技術・技能を持つ建設技能者(建設マスター)に選出された。

建設マスターは、建設現場において工事施工に直接従事し、卓越した技能・技術を有する建設技能者を「優秀施工者」として国土交通大臣が顕彰するもの。「ものづくり」に携わる者の誇りと意欲を増進させ、能力と資質の向上を促進するとともに、その社会的評価・地位の確立を図り、建設業の健全な発展に資することを目的に実施され、全国から459名が受賞している。

当所会員の受賞者は次のとおり(50音順)

- ・石崎久郎様(株)石崎組 吹上町)
- ・渡邊知寿様(渡邊瓦店 川原田町)

# 電子帳簿保存法「電子取引」へ対応はお済みですか？

電子帳簿等保存制度は、税法上保存等が必要な「帳簿」や「領収書・請求書・決算書など（国税関係書類）」を、紙ではなく電子データで保存することに関する制度です。

記録の改ざんなどを防止する観点から、保存時に満たすべき一定の要件が電子帳簿保存法で定められています。

## ① 電子帳簿等保存

電子的に作成した帳簿や国税関係書類（決算書や作成した請求書等）を、電子データのまま保存することが出来ます。

## ② スキャナ保存

決算関係書類を除く国税関係書類（取引先から受領した紙の領収書・請求書等）を、一定の要件の下でスマホやスキャナで読み取った電子データを保存することが出来ます。

## ③ 電子取引データ保存

申告所得税・法人税に關しての帳簿・書類の保存義務が課されている方は、注文書・契約書・送

り状・領収書・見積書・請求書等に相当する電子データをやりとりした場合には、一定の要件の下でその電子データ（電子取引データ）を保存しなければなりません。

※①②は希望者のみ、③は義務化されています



電子取引データ保存の要件とは…

1. 真実性の確保(改ざん防止) ※左記のいずれかを満たす

◆ タイムスタンプが付与されたデータを受け取る

◆ 保存するデータにタイムスタンプを付与する

◆ データの授受と保存を、訂正削除履歴が残るシステムやそもそも訂正削除ができないシステムで行う

◆ 不当な訂正削除の防止に関する事務処理規程を制定し、遵守する

2. 可視性の確保※左記の全てを満たす

◆ モニター・操作説明書等の備付け

◆ 検索要件の充足(要件を満たす場合のみ不要)

国稅庁 電子帳簿等保存制度特設サイト  
<https://www.nta.go.jp/law/joho-zekaisshaku/sonota/jirei/tokuseisu/index.htm>

【問い合わせ先】

国稅相談専用ダイヤル (ナビダイヤル)

TEL 0570-000-5901



## 青年経営者会 12月例会 「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト2023 ~若手経営者との意見交換会~」を開催

青年経営者会(笠原空也会長)では、12月7日、12月例会「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト2023 ~若手経営者との意見交換会~」を開催した。

本例会は、栃木市主催の「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト2023」の応募者と同会メンバーが交流を図り、事業や経営に対する心構え、今後のネットワーク形成を目的に開催している。当日は、コンテスト応募者7名、同会メンバー32名が出席した。

はじめに、コンテスト応募者から自己紹介、並びにビジネスプランの概要説明がされた後、テーブルディスカッションが行われた。コンテスト応募者が抱える不安や悩みの相談に対し、先輩経営者としてのアドバイスをするシーンなど、積極的な意見交換の場となった。その後は交流会が行われ、コンテスト応募者と同会メンバーの双方にとって充実した時間を過ごすことができた。

青年経営者会では、こうした活動を通して、活力ある事業者を増やし、引き続き、地域経済の活性化に取り組んでいく。

研修委員会委員長 渡邊 知寿



笠原会長挨拶



参加者全員による集合写真

## ～ 栃木税務署からののお知らせ～

所得税・個人消費税・贈与税の確定申告会場を次のとおり開設いたします。

会 場	栃木商工会議所大ホール(栃木市片柳町2丁目1番46号)
期 間	令和6年2月16日(金)から3月15日(金)まで ※土日・祝日を除く
時 間	相談受付：午前8時30分から午後4時まで(相談開始：午前9時)

○確定申告会場の入場には、次の方法により発行される入場整理券が必要です。

- ①国税庁LINE公式アカウントを通じたオンラインでの事前発行。
- ②当日配布(配布状況により、午後4時前であっても相談受付を終了する場合がありますので、オンラインでの入場整理券の事前発行をおすすめします。)

※確定申告会場では、スマホ申告を基本とした相談体制としております。

※マイナンバーカードを利用して申告する場合は、併せてパスワード(①数字4桁及び②英数字6～16桁)が分かるようにしてお越しくください。

※必要書類が不足する場合には、確定申告ができません。事前に国税庁ホームページなどで必要書類をご確認の上、お越しくください。

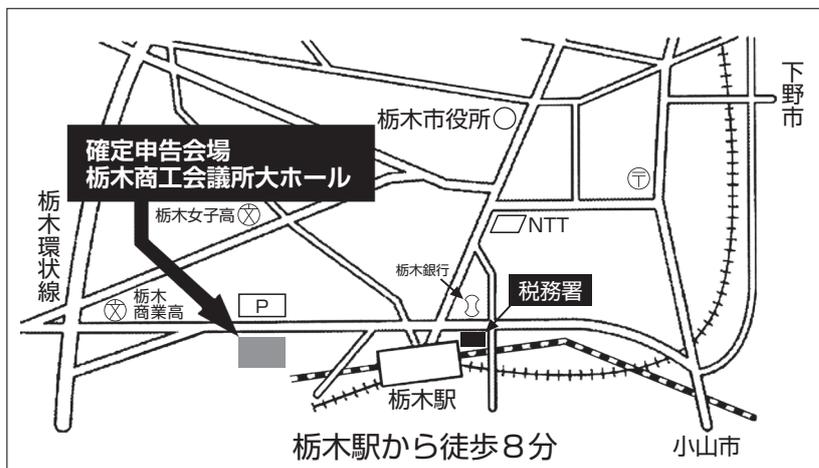
※2月15日以前は、栃木税務署庁舎内において、申告相談を行っております。

※本年より、確定申告会場においては、完成した申告書等(控)への收受日付印の押印は行いません(「申告書提出箱」のみ設置)。

申告書等(控)に收受日付印の押印が必要な方は、郵便切手を貼付した返信用封筒を同封の上、郵送で提出してください。

「郵送先：〒328-8587 関東信越国税局業務センター栃木分室宛(住所の記載は不要)」

※栃木商工会議所への直接のお問合せはご遠慮ください。



国税庁LINE  
公式アカウント

【問い合わせ先】 栃木税務署 TEL 0282-22-0885(自動音声案内)

## 青年経営者会NEWS

る・じょーむ

Le Jeune homme

NO.433 令和6年1月10日発行 ●編集/青年経営者会



## 新年のごあいさつ

栃木商工会議所  
青年経営者会

会長 笠原 空也

新年明けましておめでとうございます。  
謹んで初春のお慶びを申し上げます。

旧年中は栃木商工会議所青年経営者会の諸活動に対し、格別のご高配、ご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行して以降、行動制限が完全に撤廃され、外出機会の復活やインバウンド需要の拡大のほか、各種イベントの再開など個人消費を喚起する動きが活発化し、コロナ前の状況を取り戻しつつあります。

一方で、原材料やエネルギー価格の高騰、人手不足など中小・小規模事業者等にとって厳しい状況が続く中、ロシア・ウクライナ情勢や中東での新たな紛争など、海外情勢の緊迫度も増しており、今後の動向を慎重に見極める必要があると思います。

当会の活動においては、「Bonds of YEG ～絆の力で新たな一歩を踏み出そう～」を令和5年度のスローガンに掲げ、こうした難局を乗り越えるべく、会員はもと

より、地域や他団体との交流を活発に行ってまいりました。

その中でも、8月に令和元年以来4年振りとなる「歳の街サマーフェスタ」を開催し、市内の学校や商工会青年部、パフォーマンス団体、市民などが一体となり今までにない盛り上がりを見せたことは、まさに“新たな一歩”と感じております。

また、11月例会に、他団体等と協力のもとイベントを開催し、地域資源である太平山の魅力を発信しました。太平山の歴史を学ぶ機会となり、改めて地域の誇りとしての位置づけと地域愛を醸成することで地域の活性化や振興を図ることができたと感じております。

さらに、今年度は当会として初めて、政策提言活動に取り組んでおります。年度当初から、政策提言に関するセミナーを開催するとともに、課題抽出を行い、提言事項を検討してまいりました。2月に行政に対して提言を行う予定をしており、当会の“新たな一歩”に向けて、引き続き取り組んでまいります。

当会は、これからも同士たちと絆を深め、人や街を元気にするような活動を積極的にを行い、活力のある街づくりを実現し、地域の経済的発展の支えとなるよう一丸となって邁進していく所存です。

結びに、本年も当会の活動に深いご理解とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、皆様にとりまして飛躍の年となり、皆様の企業がますます発展されますことを心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

## 女性経営者会NEWS



## 新年のごあいさつ

栃木商工会議所  
女性経営者会

会長 堀 恵子

新年あけましておめでとうございます。

令和6年の新しい年を迎えられましたこと謹んでお慶び申し上げます。

平素は栃木商工会議所女性経営者会の活動に対し、ひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3年にわたるコロナ禍を乗り越え、地域でのイベントの開催や観光など、人の動きが活発化し、経済活動が加速化してきたように感じております。

一方、中小・小規模事業者にとりましては、人手不足や物価高騰の影響により、依然として厳しい状況が続いている中、中東情勢の緊迫化が新たな社会的、経済的不安となり、極めて予測困難な厳しい経営環境下におかれています。

そのような中、当会におきましては、昨年8月に創立5周年を迎えることができました。これまでを振り返りますと、大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症の蔓延等により怒涛の5年間ではありましたが、無事

この日を迎えられましたことはひとえに皆様のご支援ご協力のおかげと感謝申し上げます。

昨年6月に開催した創立5周年記念視察研修におきましては、100周年を迎えた日本商工会議所を訪問し、商工会議所設立までの秘話やその後の変遷等について詳しく知ることができ、当会としての果たす役割を改めて見つめ直す良い機会となりました。

また、継続事業として街中イベントにおける来場者の方々へのおもてなし活動に加え、他女性会との交流の場にも積極的に参加いたしました。関商女性連総会においては群馬県前橋市へ赴き、各地の女性会の熱気とパワーを感じ、士気が高まりました。また、一方で、市内商工会女性部の皆様との交流会議を開催し、相互に刺激合いながら地域のため結束していくことを誓い合いました。

今年は創立5周年記念事業の一環として、栃木市活性化の一助となればと、2月6日にダイヤモンド☆ユカイ氏によるトーク&ライブを予定しております。記念の年を盛大に祝すべく準備を進めておりますので、是非多くの皆様にお越しいただきたいと思っております。

今後は新たなステージに向け、地域活性並びに社会貢献のため活動してまいりますので、皆様の一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。